

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 3 月 31 日

Table with columns for project name, policy system position, financial system position, and budget items. Includes details for 'High-aged Welfare Promotion' and 'Nursing Insurance Special Account'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on support for the Silver-Hilability Exercise Instructors Association.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段 (Activity Indicators), ②対象 (Target Indicators), and ③意図 (Outcome Indicators). Includes data for support activities, membership, and training.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing cost breakdown by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel costs (staff, time, etc.) for 27-31 years.

Table comparing 28年度事業費実績 (2016 Actual) and 29年度事業費予算 (2017 Budget) with categories like '13 Commission Fee' and '11 Expenses'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 29, 30, and 31 years. Includes a note to enter content by year and a list of main activities like 'Mayor's Manifesto'.

事務事業名	シルバーリハビリ体操指導士会支援事業	事務事業No.	20601000996	所属課	高齢福祉課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 一般高齢者施策として開始された。介護保険法の改正により、地域介護予防活動支援事業として実施することになった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? シルバーリハビリ体操指導士会より桜川市には、シルバーリハビリ体操指導士3級を養成できる1級指導士がいないので、ぜひ1級指導士を養成してほしい。介護予防ボランティアの育成人数を増やしてほしい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 介護予防に資するボランティアの育成・支援を行い、地域で積極的な介護予防活動を展開することは、高齢福祉の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 介護保険法により市が行うのは妥当であり、シルバーリハビリ体操3級養成講習会は市が運営することになっている。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 介護予防
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 介護予防事業の衰退につながり、要介護者の増加につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない シルバーリハビリ指導士養成についてはボランティア団体が講師となり講習会を開催している。また、介護予防ボランティアの育成は、体操の基礎知識があるシルバーリハビリ体操指導士から養成しているため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である シルバーリハビリ体操指導士3級構成講習会は、広報にて募集しており公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) H28年度は、桜川市シルバーリハビリ体操指導士会から4名が1級指導士の資格を取得した。1級指導士が講師となり、桜川市において初めて3級養成講習会を開催することができた。また、シルバーリハビリ体操指導士会からの希望者に介護予防ボランティアの育成を行ったことで、レクリエーションや脳トレなどを実施し、地域での活動内容の充実が図れた。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 介護予防ボランティアの育成、育成後の活動の場の拡大。 介護予防教室のボランティアの自主運営に向けて、地区区長や老人会との調整が必要。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---